

平成17年3月1日から平成17年8月31日まで



株主の皆様へ



株主の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜りまして、ありがたく厚くお礼申
しあげます。

さて、当社第58期中間期（平成17年3月1日から平成17年
8月31日まで）の決算にあたり、営業の概況につきましてご
報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援
とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年11月

代表取締役社長

田中経久

営業の概況

■営業の状況

当中間連結会計期間の我が国経済は、企業収益の改善にと
もなう設備投資の増加や雇用情勢の改善による個人消費の緩
やかな増加など、景気回復へ向け底堅く推移いたしました。
反面、原油価格高騰による経済環境への影響など不透明感
は増しております。

当業界におきましては、本格的な需要回復への道程は未だ
険しい中、市場シェアの確保に向けた価格訴求型商品の展開
と高付加価値を追求した新製品の開発競争が激しさを増して
おります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、価
格訴求型ブランドとして展開しております「リクエストシリ
ーズ」が好調に推移いたしました。一方、新旧交代時期にさ
しかかった既存商品の売上が低迷いたしました。また、前連
結会計期間に投入いたしました高付加価値型新ブランド「ア
バンティ（先進）シリーズ」は、「ひとに優しく、環境にや
さしく」のコンセプトのもと、手触りと使用感に優れ、環境
にも配慮しており、当期間においても順次拡充を進めており
ます。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、
売上高は51億1百万円（前中間連結会計期間比0.3%減）と
なりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費
の圧縮などに努めましたが、原材料コストの上昇等により、
営業利益は2億8千1百万円（同17.7%減）、経常利益は2
億8千2百万円（同12.7%減）とそれぞれ減益となり、中間
純利益も2千4百万円（同86.6%減）と減益になりました。

なお、当中間連結会計期間より「固定資産の減損に係る会

LIHIT LAB. VIETNAM INC.



計基準」の早期適用を行っており、上記業績に2億2千9百万円が減益要因として含まれております。

また、昨年12月に設立いたしました海外生産子会社 LIHIT LAB. VIETNAM INC. は本年中の本格稼働に向け、一部生産を開始しております。

当中間連結会計期間の事業別の業績につきましては、次のとおりであります。

事務用品等

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

◆ファイル部門

ファイル部門におきましては、「穴をあけてとじるファイル」と「穴をあけずにとじるファイル」に区分しております。前者は書類の綴じ厚に応じて背幅が変わる「ユーノビファイル」が「ユーノビクイックファイル」と共に売上を伸ばしましたが、後者では「クリヤーホルダー」「パンチレスファイル」の売上がユーザーニーズの多様化により下落しました。

また、「アバンティシリーズ」で投入した新製品のリングファイルが徐々に市場に浸透してまいりました。その結果、ファイル部門の売上高は20億5千4百万円（前中間期比2.6%減）となりました。

◆バインダー・クリヤーブック部門

バインダー・クリヤーブック部門におきましては、ノート・コンピューターバインダーが需要変化により売上減少いたしました。クリヤーブックは全般的に順調に推移し、ポケット枚数が増えない「固定式タイプ」、ポケット枚数が増やせる「交換式タイプ」の何れもが売上増加となりました。その結果、バインダー・クリヤーブック部門の売上高は8億8千5百万円（前中間期比4.3%増）となりました。

◆収納整理用品部門

収納整理用品部門におきましては、バッグが市場成熟化により売上が減少、またクリヤーケース等薄型収納商品とデスクトレーの売上也低調に推移いたしました。その結果、収納整理用品部門の売上高は8億4千2百万円（前中間期比7.6%減）となりました。

◆その他事務用品部門

オートパンチ・ペーパードリルのオフィス機器が前年同期の特需分のカバーが出来ず苦戦いたしました。メディカル用品は、医院向け外来カルテシステムが好調に推移し、売上

を伸ばいたしました。その結果、その他事務用品部門の売上高は10億8千6百万円（前中間期比4.2%増）となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は48億6千8百万円（前中間期比0.9%減）となりました。

不動産賃貸

賃貸収入は大江ビル（本社）・大阪配送センター共に安定的に推移いたしました。

その結果、不動産賃貸事業の売上高は2億3千3百万円（前中間期比12.8%増）となりました。

【通期の見通し】

今後の見通しといたしましては、原油価格高騰による原材料価格の上昇などの不安要因に加えて、米国・中国をはじめとする世界経済の動向も懸念され、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われれます。

当社グループといたしましては、営業力強化による収益の向上をはじめ、生産及び物流の合理化と財務体質の強化を一層推し進めてまいり所存でございます。

平成18年2月期の当社グループの連結業績につきましては、LIHIT LAB. VIETNAM INC. を連結対象に加えて、売上高は97億1千万円、経常利益は3億3千万円、当期純利益は3千万円を見込んでおります。また当社単体業績につきましては、売上高は96億4千万円、経常利益は3億5千万円、当期純利益は5千万円を見込んでおります。

部 門	売上高 (千円)	構成比 (%)	前中間期比増減 (%)
フ ァ イ ル	2,054,077	42.2	△2.6
バインダー・クリヤーブック	885,849	18.2	4.3
収 納 整 理 用 品	842,167	17.3	△7.6
そ の 他 事 務 用 品	1,086,262	22.3	4.2
合 計	4,868,357	100.0	△0.9

使いやすさの追求

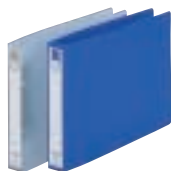
LIHIT LAB. **Avanti** リングファイル



グリーン購入法
適合商品



F-877U-1~24 **A4・S**



F-874U-1・8 **A4・E**

リングをひねると、かるーく開くツイストリング金具



使いやすさを追求したリングファイルの新定番。サイズバリエーション充実！

Sサイズ 6品番
Eサイズ 7品番
11サイズ 13品番

高いデザイン性の追求

LIHIT LAB. **Avanti** エルグランドクリアブック



グリーン購入法
適合商品

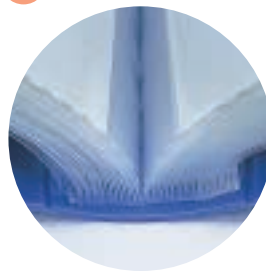


N-3611-3~24 **20ポケット**



N-3612-3~24 **40ポケット**

製本されたイメージのハイグレード・クリアブック



ポケットがめくりやすい機能、デザイン性、価格にこだわったクリアブックの逸品。



2005年
グッドデザイン賞
受賞商品

カタチにした商品開発を積極的に推進します。

個人情報保護法対策用品

LIHIT LAB. シークレットサポートホルダー



F-78S-3~27 A4

外から個人情報書類が見えない不透明カラーホルダー



様々な個人情報を大切にする
5色の不透明ホルダー。
名入れも承ります。

グリーン購入法適合への取り組み

クリアケース



F-74S A4S



F-74SM A4S

クリアケース全アイテムに再生オレフィンを使用

グリーン購入法
適合商品

開閉しやすいスライドファスナータイプの、良く使われているクリアケース全アイテムをグリーン購入法適合商品にステップアップ!



この他にも数多くの新製品を発売しております。

中間連結財務諸表

■ 中間連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成16年8月31日現在	平成17年8月31日現在	平成17年2月28日現在
資産の部			
流動資産	5,469	4,593	4,840
固定資産	9,298	9,080	9,249
有形固定資産	8,258	7,806	8,151
無形固定資産	43	47	51
投資その他の資産	996	1,225	1,046
資産合計	14,768	13,674	14,089
負債の部			
流動負債	3,737	2,437	2,697
固定負債	1,848	2,063	2,143
負債合計	5,586	4,501	4,841
資本の部			
資本金	1,830	1,830	1,830
資本剰余金	1,410	1,411	1,410
利益剰余金	5,896	5,833	5,963
株式等評価差額金	190	248	192
自己株式	△146	△149	△148
資本合計	9,181	9,173	9,248
負債・資本合計	14,768	13,674	14,089

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 中間連結損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成16年3月1日から 平成16年8月31日まで	平成17年3月1日から 平成17年8月31日まで	平成16年3月1日から 平成17年2月28日まで
売上高	5,118	5,101	9,609
売上原価	3,451	3,519	6,464
売上総利益	1,667	1,582	3,144
販売費及び一般管理費	1,324	1,300	2,668
営業利益	342	281	475
営業外収益	15	14	36
営業外費用	33	13	50
経常利益	323	282	461
特別利益	18	0	14
特別損失	7	232	12
税金等調整前中間(当期)純利益	334	51	464
法人税、住民税及び事業税	123	134	222
法人税等調整額	25	△108	△10
中間(当期)純利益	185	24	252

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

中間単体財務諸表

■ 中間連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成16年3月1日から 平成16年8月31日まで	平成17年3月1日から 平成17年8月31日まで	平成16年3月1日から 平成17年2月28日まで
資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高	1,410	1,410	1,410
資本剰余金増加高	0	0	0
自己株式処分差益	0	0	0
資本剰余金中間期末(期末)残高	1,410	1,411	1,410
利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高	5,867	5,963	5,867
利益剰余金増加高	185	24	252
中間(当期)純利益	185	24	252
利益剰余金減少高	156	154	156
配当金	128	128	128
役員賞与金	28	26	28
利益剰余金中間期末(期末)残高	5,896	5,833	5,963

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成16年3月1日から 平成16年8月31日まで	平成17年3月1日から 平成17年8月31日まで	平成16年3月1日から 平成17年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	625	352	576
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220	△307	△555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128	△154	△704
現金及び現金同等物の増減額	276	△109	△683
現金及び現金同等物の期首残高	1,612	929	1,612
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	1,889	819	929

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 中間貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科目	前中間期	当中間期	前期
	平成16年8月31日現在	平成17年8月31日現在	平成17年2月28日現在
資産の部			
流動資産	5,318	4,438	4,690
固定資産	9,332	9,113	9,282
有形固定資産	8,258	7,806	8,150
無形固定資産	43	47	51
投資その他の資産	1,030	1,259	1,080
資産合計	14,650	13,552	13,973
負債の部			
流動負債	3,700	2,398	2,665
固定負債	1,848	2,063	2,143
負債合計	5,549	4,461	4,808
資本の部			
資本金	1,830	1,830	1,830
資本剰余金	1,410	1,411	1,410
利益剰余金	5,816	5,750	5,879
株式等評価差額金	190	248	192
自己株式	△146	△149	△148
資本合計	9,101	9,090	9,164
負債・資本合計	14,650	13,552	13,973

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 中間損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

科目	前中間期	当中間期	前期
	平成16年3月1日から 平成16年8月31日まで	平成17年3月1日から 平成17年8月31日まで	平成16年3月1日から 平成17年2月28日まで
売上高	5,082	5,069	9,550
売上原価	3,433	3,505	6,442
販売費及び一般管理費	1,311	1,288	2,641
営業利益	337	274	466
営業外収益	19	19	41
営業外費用	33	13	50
経常利益	323	280	456
特別利益	18	0	14
特別損失	7	232	12
税引前中間(当期)純利益	334	49	459
法人税、住民税及び事業税	122	132	220
法人税等調整額	24	△108	△11
中間(当期)純利益	187	25	250
前期繰越利益	354	400	354
中間(当期)未処分利益	542	425	605

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

会社の概要

(平成17年8月31日現在)

■会社の概要

商号	株式会社リヒトラブ (英文名 LIHIT LAB.,INC.)
設立	昭和23年5月25日
資本金	18億3,000万円
事業内容	事務用品の製造・販売及び不動産の賃貸
従業員数	209名

■主な事業所

本 社	大阪府大阪市
東 京 支 店	東京都中央区
営 業 所	札幌：北海道札幌市 名古屋：愛知県名古屋市 広島：広島県広島市 福岡：福岡県福岡市
静岡事業部工場	静岡県菊川市
静岡事業部物流センター	静岡県菊川市

■関連子会社

国内	大江ビルサービス株式会社 大阪府大阪市 アイ.ダブリュー.ガティ株式会社 大阪府大阪市
海外	LIHIT LAB. VIETNAM INC. ベトナム社会主義共和国ハイフォン市

■役員

代表取締役社長	田中 経久	監査役(常勤)	江草 稔
常務取締役	田中 宏和	監査役(常勤)	原元 英雄
取締役	松尾 利一	監査役	大澤小吉郎
取締役	上野 良弘	監査役	河野修一郎
取締役	長屋 忠雄		
取締役	島津 正		
取締役	広畑 元二		
取締役	谷口 裕二		
取締役	大内 高明		

(注) 監査役のうち、大澤小吉郎氏、河野修一郎氏の両氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

株主メモ

決算期	2月末日
基準日	2月末日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日。
公告掲載新聞	大阪市並びに東京都において発行する日本経済新聞
貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス	http://www.lihit-lab.com/corporation/ir.htm
名義書換代理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号

URL <http://www.lihit-lab.com/>

株式の情報

(平成17年8月31日現在)

■株式の状況

会社が発行する株式の総数	40,000,000株
発行済株式の総数	19,078,500株
株主数	2,322名

■大株主

株主名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数	持株比率	持株数	持株比率
	千株	%	千株	%
田中経久	945	4.95	—	—
田中莞二	892	4.67	—	—
リヒトラブ共栄会	742	3.89	—	—
株式会社三井住友銀行	735	3.85	—	—
富士火災海上保険株式会社	704	3.69	271	0.06
日本生命保険相互会社	643	3.37	—	—
明治安田生命保険相互会社	523	2.74	—	—
株式会社東京三菱銀行	486	2.54	—	—
リヒトラブ社員持株会	432	2.26	—	—
大阪証券金融株式会社	323	1.69	—	—
株式会社UFJ銀行	319	1.67	—	—

(注) 1. 当社は、自己株式769,708株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 株式数は千株未満を切り捨て、持株比率は小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

この中間事業報告書は、当社第58期前半の状況をお知らせするものであり、株主総会の招集、配当金の支払いなどはございませんので、ご了承ください。

同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 電話0120-094-777 (通話料無料)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村証券株式会社 全国本支店 ※株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社 の電話及びインターネットでも24時間承っております。 電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部)
ホームページアドレス	http://www.tr.mufg.jp/daikou/

LIHIT LAB.

 **100**
古紙配合率100%再生紙
環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用
しております。

 **PRINTED WITH SOY INK**